

平成 20 年 5 月 13 日

### 3 号機活性炭ホールドアップ建屋の排気ダクトの不具合について

#### <概要>

##### (事象の発生状況)

- ・平成 20 年 5 月 12 日、運転中の 3 号機活性炭ホールドアップ建屋<sup>\*1</sup>の排気ダクトのつなぎ目から、ダクト内の空気が漏れいしていることを確認しました。

##### (安全性、外部への影響)

- ・調査の結果、外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

##### (対応)

- ・漏れい箇所を速やかに補修しました。
- ・今後は点検周期を定め、的確に点検を行います。

##### (公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

#### 1. 事象の発生状況

運転中の当所 3 号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）において、平成 20 年 5 月 12 日午後 2 時 37 分頃、活性炭ホールドアップ建屋内の排気を主排気筒へ導く排気ダクトの点検調査<sup>\*2</sup>を行っていたところ、当該ダクトのつなぎ目（4 カ所）からダクト内の空気がわずかに漏れていることを、当社社員が確認しました。

#### 2. 安全性、外部への影響

その後の調査の結果、当該ダクトのつなぎ目周辺および、当該建屋内の空気には放射性物質による汚染はなかったことから、このつなぎ目を通じた外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

また、主排気筒放射線モニタ<sup>\*3</sup>および、空間線量率を測定するために発電所敷地境界近傍に設置されているモニタリングポストの値は通常の変動範囲内であり、周辺環境への影響はなかったものと考えております。

#### 3. 対応

確認の結果、ダクトつなぎ目のゴムパッキンの劣化により漏れいがあったものと推定しております。

対策として、当該ダクトつなぎ目の漏れい箇所について、速やかに補修を行いました。

今後は当該ダクトの点検周期を定め、的確に点検を行ってまいります。

以 上

**\* 1 活性炭ホールドアップ建屋**

原子炉から発生する放射性希ガスを、気体廃棄物処理系に設置された活性炭フィルタで吸着することにより、放射能を減衰させる装置などを収納する建屋。

**\* 2 主排気筒へ導く排気ダクトの点検調査**

平成 20 年 3 月、当所 4 号機において廃棄物地下貯蔵設備建屋の排気ダクトに 2 箇所の子が確認された事象を踏まえ、当所他号機を含めて同様の事象の有無を確認する点検調査であり、10 月頃までに完了する予定。

**\* 3 主排気筒放射線モニタ**

建物内の空気はフィルタなどを経由し排気筒から放出している。主排気筒放射線モニタは環境への放出にあたり排気中の放射線を測定する装置。

### 3号機 活性炭ホールドアップ建屋の換気空調系概略図

